

いずみ 5月



平成28年5月20日（金）第1号

新学期が始まって2ヶ月が過ぎようとしています。お子さんの様子はいかがでしょうか。今年度も、研究通信を通して校内研究の内容や子供達の学習の様子をお知らせして行きたいと思います。子供達は学校と家庭が手を取り合って向き合うことで、大きく成長していきます。ぜひ「いずみ」をご一読頂き、ご家庭での話題にして頂ければ幸いです。（研究主任 武田真弓）

今年のキーワードは「小中連携」

今年度本校は、甲斐市より「小中連携推進事業」の指定を受けました。来年度に渡り2カ年間、小学校と中学校の円滑な接続を目指して研究を進めていきます。この事業の委嘱内容は以下の通りです。



- ①小中が連携し、9年間を見通した学習指導方法の工夫・改善に努め、**確かな学力の定着**を図る。
- ②小中が連携し、9年間を見通した**一貫した生徒指導の充実**を図る。
- ③小中が連携し、諸行事を通して児童生徒の交流を促進し、多様な体験をさせることにより、自己肯定感を醸成し、**豊かな人間形成**を図る。
- ④小中の接続期に視点をあてた取組を行うことで、**中1ギャップの軽減**に努める。

小学校から中学校への進学は、大きく環境が変わる時。学習や生活、人間関係など様々な変化に適応できずに悩む生徒が見られます。そこで、小中が手を携え、9年間を見通した一貫性のある学習指導や生徒指導をしていく中で、子供達の豊かな育ちを支えていこうというのがこの研究です。敷島中学を中心に、敷島小・敷島北小・敷島南小の4校が協力し合って進めていきます。

全国学力・学習状況調査

4月19日（月）に、6年生が全国学力・学習状況調査に挑みました。今年度は3・5年生の県学力把握調査も同日に行われました。成果はどうだったでしょうか？3・5年生は7月、6年生は8月末に結果が返却される予定です。

